

経営者視点を学ぶ 『変化への対応力とは ～次世代通信への挑戦を通して～』

講師： 手嶋俊一郎
元 日本電気株式会社 執行役員常務
現 技術経営士



2025年6月10日に、「変化への対応力とは ～次世代通信への挑戦を通して～」と題して、新潟大学にて16名の博士課程大学院生と4名の教職員を対象に講義を実施した。なお、今回のセミナーは、大学教員5人による起業と知財戦略についての講座とSTAMP技術経営士5人による「経営視点を学ぶ」と題した講座で構成されている。

講義内容

講義では、冒頭で、企業が博士人材に期待することは、高度な専門性、組織を生かす力、そして社会の変化に柔軟に対応する力であること、そして、今回の講義では、中でもとりわけ重要である「変化への対応力」に焦点を当てることを示した。

続いて、この数十年、アナログからデジタルへ、ハードからソフトウェア化へ、また、固定通信から移動通信へと大きく変化した通信の世界で、その時々次世代通信に挑戦してきた経験を振り返り、経営者の視点で「変化への対応力」について重要だと考える事柄を、衛星通信、携帯電話、ソフト化などの研究開発の現場で課題に取り組んだ事例を交えて話をした。特に、専門性を持ちながらも柔軟性を忘れないこと、リーダーシップと協調性を持ち組織力を引き出すこと、高い目標と論理的思考を持って粘り強くやりきること、などが大事であることを伝えた。

最後に、スライシングやローカル 5 Gなどの 5 Gの進化、低軌道衛星や I O W N 構想、そして AI 利用など通信分野の最新の動向を、それぞれの専門分野でも有効活用して欲しい情報として紹介した。

質疑応答、感想

学生さんは、対面が6名、オンラインが10名の参加で、講義の終盤には小グループに分かれてディスカッションの時間が設けられた。教室内では活発に議論が行われ、最後に2グループからその場で感想と質問をもらった。

また、翌日には16件の感想と4件の質問がメールで届いた。専門分野が通信とは異なる学生さんたちも、講義で示した事例や講師が伝えたメッセージを、自分の専門や将来の進路と重ね合わせながら真剣に聞いてくれたことが感じられた。

質問は、変化への対応力と通信技術の両方に関するものがあり、学生さんたちの真摯で前向きな姿勢が感じられると共に、講義に対する手応えを実感することが出来た。